

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital



国内最大級

内視鏡センター リニューアルのご案内

目指すのは、皆様が安心して検査を受けていただける場所

2022年4月11日に1号棟(入院棟)2階に内視鏡センターがリニューアルオープン致しました!! 近年、内視鏡機器・治療法は飛躍的に向上し、検査及び治療で担う領域が格段に広がっております。一方、診療を取り巻く環境も劇的に変化しており、特に昨今のCOVID-19の拡大により新たな感染対策が求められるようになりました。現在、そして未来の診療ニーズにお応えするためのリニューアルです。

当院は高度救命救急センターを標榜する救急指定病院であり、救急患者の緊急内視鏡治療に対応する一方、がん診療拠点病院として高水準のがん診療を提供する使命があります。

新内視鏡センターでは、各検査室の個々の患者のvital signをセントラルモニターで監視することが可能になり、緊急内視鏡時の急変対応や不測の事態にも、より迅速に対応できるようになりました。また、胆膵内視鏡検査(ERCP)や気管支鏡検査をはじめとする透視下内視鏡検査において、より高精度で安全な検査、治療を実現するために、多方向からの透視観察を可能とするCアーム型X線透視装置を導入しました。

本邦では2人に1人が生涯のうちにがんと診断されますが、その上位を胃がん、大腸がんといった消化器がんが占めています。消化器がんに対する内視鏡治療は、根治性に加え、臓器温存に優れているため、「がんの治療後も治療前と同じ生活が可能」であることが最大の魅力です。しかしながら、内視鏡で治療できるのは早期のがんに限られており、症状が出現する前に発見することが理想です。本邦では無症状、検診で発見されるがんの割合は3割程度といわれており、まだ

まだ不十分な数字と考えられます。がんの早期発見率向上のためには、積極的な検診およびハイリスク群を対象とした定期検査が必須ですが、初めて検査を受ける方や長らく検査を受けていなかった方にとって、内視鏡検査のハードルは高いように思います。

新内視鏡検査センターでは、こうした方々にとってもこれまでどおり最高水準の治療、検査精度を保ちつつ、安心して、かつ苦痛なく検査を受けていただける場とすることをテーマの1つとして掲げています。

この一環として、昨今希望者が多くなっている「眠って受けられる内視鏡検査」の充実をはかるために、鎮静検査後のリカバリーベッドを増床しました。また、検査台はそのままリカバリーベッドとして使用できる快適なベッドを採用しており、鎮静内視鏡検査後は眠ったままでベッド移動なくリカバリー室へお連れして休んでいただくことが可能です。今後は鎮静内視鏡検査数を増やし、検査の不安が強い方にも気軽に受けいただける機会を増やしたいと考えています。

また、遠方からお越しの方にはセンター内で大腸内視鏡検査の前処置(下剤の内服)が可能ないように前処置室を設置しましたので、安心して検査の準備をしていただくことができますと思います。

不安で検査をためらわれておられる患者がおられましたら、是非、当院へご紹介ください。



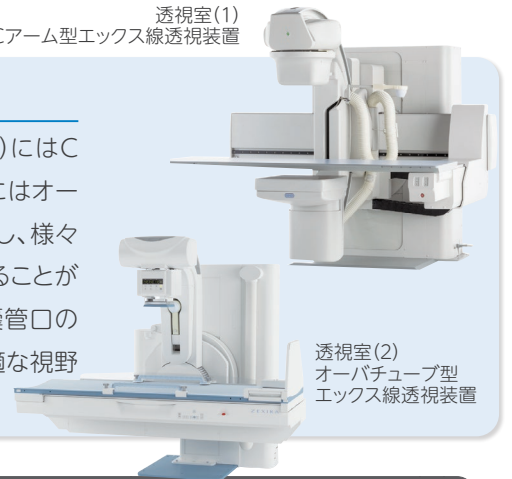
内視鏡センター 館内マップ

1号棟(入院棟) 2階

透視室

透視室を2室設け、透視室(1)にはCアーム型透視装置、透視室(2)にはオーバチューブ型の透視装置を設置し、様々なアングルから観察を実現でき、肝門部胆管の分岐部、胆嚢管口の分岐部などの複雑な形状も、最適な視野と三次元的な情報の提供が可能

透視室(1)
Cアーム型エックス線透視装置



透視室(2)
オーバチューブ型
エックス線透視装置



受付

患者様が不安を感じないよう、明るい色合いの内装にリニューアルしています。以前よりもスタッフの顔が見えるようになり、患者様とのコミュニケーションも取りやすくなりました。



リカバリー

「眠って受けられる内視鏡検査」の充実のため、鎮静検査後のリカバリーベットを増床しました。

《お問い合わせ》



日本赤十字社 大津赤十字病院 地域医療連携課

〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1番35号

TEL.077-522-8535(直通) FAX.077-522-4385(直通)

予約受付 月曜日から金曜日(平日) 午前8時30分から午後8時00分まで
土曜日 午前9時00分から午後1時00分まで

QRコードからホームページが
ご覧いただけます

<https://www.otsu.jrc.or.jp/>

